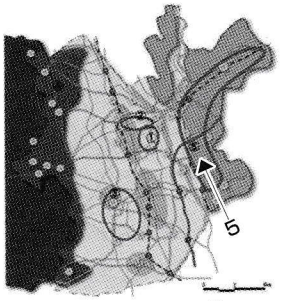
# 支部さんぽ

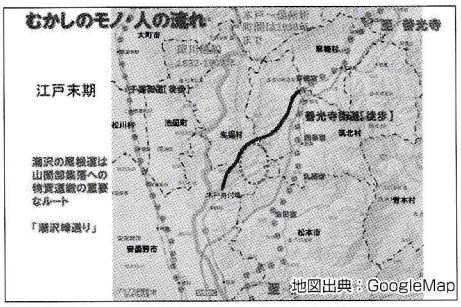
安曇野支部　岡江　正

今回の「さんぽ」は、安曇野の東山山麓のウォーキング（トレッキング）コースの話です。しかしただの観光コースではありません・・・。

私たちが普段建築に係るとき、そこには二つの側面を吟味する必要があります。一つには「文化性としての建築」もう一つは「社会性としての建築」です。そしてこの二面性は割合の問題ではなく、紙の表裏のような関係だと言えます。この関係が密なものになればなるほどそれが失われてもそのレトリックは消されず、人々の暮らしの中の未来に繋がります。とりわけ個としての建築よりもその複雑な集合体としての集落（≒まち）は、歴史という概念と共に意味を持ちます。今回取り上げるのは、そうしたかつての集落の話と忘れ去られ、失われてしまう代々暮らしてきた人々の暮らしを再スキャン（ウォーキング）することで、別な世界観が垣間見れるという例です。




整備モデル地区5[※1]




江戸末期 モノと人の流れ[※2]

現在 モノと人の流れと変化

「歩いて楽しいまちづくりプロジェクト」　潮沢地区（モデル地区5）[※1]での取組は、安曇野市明科の潮沢地区において安曇野市（環境課）の環境基本計画「まちづくりプロジェクト」から始まりました。目的は、

**「水景観と歴史・文化遺産が各所に見られる安曇野を市民が歩いて良さを再認識し、楽しみ、守り育て、活かすまちづくりを目的とし、健やかに心地よく暮らせる、安曇野の環境の実現を目指す。」**

というもので、その概要は、

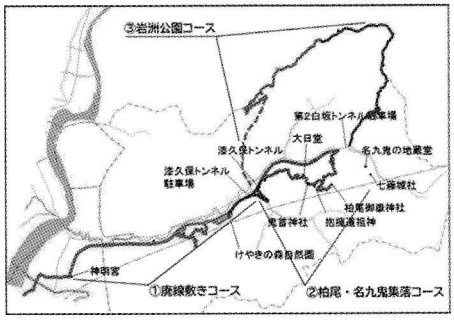
1　**歩くスピードで安曇野の「魅力」にふれあう➡「いいところ」を知る。**
　昔ながらのゆったりとした暮らしの速度のなかで育まれてきた安曇野の環境や景観を、歩くスピードで実感する。

2　**楽しみながら肌で実感し、安曇野の魅力をフィールドで実感・共有する➡「いいところ」を楽しむ。**
　古きよきものと現代流の「楽しみ方」との融合を目指し、遊んで、楽しむ。

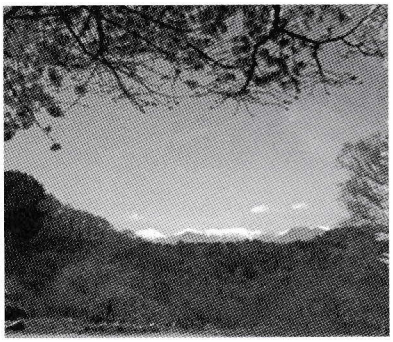
3　**連帯感・一体感を持つ、やりがいのある市民参加機会の創出➡「いいところ」を受け継ぐ。**
　市民が一体となって、連帯感を持ち、やりがいを感じる取り組みとして継続させていく。
　**「いいところ」とは、安曇野での暮らし、生活する中での環境と密接に関わって維持されている要素。水辺・山並・田園・歴史・文化・里山・森・温泉などです。**

このプロジェクトは、まさに**「さんぽ」**の中から「新しい魅力あるものを見つけ、未来に繋げたい」というもので**「まちのリノベーション」**とも言えます。安曇野の一部が全体とどう関わっていくかという実験プロジェクトでもあります。元々、篠ノ井線の廃線敷きを保存し、残したいという地元の人たちの『思い』から始まりました。その『思い』と行政の『まちづくり』とが一緒になり５年計画という中で活動してきました。そしてプロジェクトは官から離れる体制づくりをし、自立した活動で存続をし始めました。

鉄道が引かれる前の物流と人々の信仰に係る善光寺への裏街道[※2]で、川沿いを避けた峰伝いにかつては3000人もの人が暮らしていたこの地は、対岸の雄大な北アルプスを同じ目線でとらえ、四季折々の山の恵みとともに暮らしました。また平家の落人伝説や八面大王の神話も残るこの地のレトリックを残したいという『思い』だけがそこにはあります。"・・・そんな山の中の人もいないようなところに（限界集落）、金と時間をかけてどうするんだ!?・・・学校は？病気の時は？買い物は？雪が降ったら？・・・水道や電気、道路の補修、誰が負担するんだ!?"との批判は当然あります。合理的な現代の暮らしからは逆行するからです。何しろ携帯が繋がりませんし・・・きっとこの先、誰もいなくなってしまうだろうと、廃村になってしまうことには誰もが気づいています。「集落は残せないかもしれないが、心をこんな豊かにしてくれる場所があったんだ。」と思いたいのです。そしてそのことを未来の人に伝えたいのです。

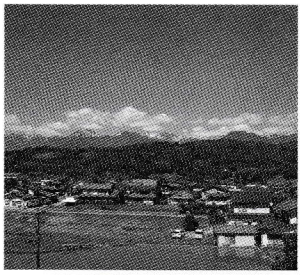


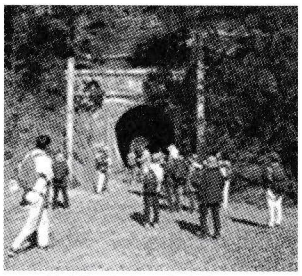

①廃線敷きコース ②柏尾・名九鬼集落コース
③岩洲公園コース



春の柏尾 大日堂前から望む北アルプス

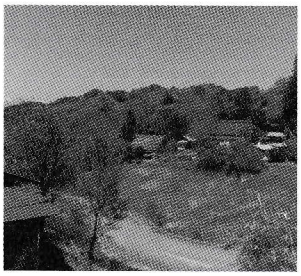
ここには三つのウォーキングコースがあります。①廃線敷きコース、②柏尾・名九鬼集落コース、③岩洲公園コースそれぞれに人々が暮らしてきた歴史と文化を垣間見ることができます。今では忘れ去られようとしている300年以前から続く信仰儀式の「風神祭り」。そして何より長閑な風景と静寂性は今の社会からは想像できません。無いことの不安を通り越して、そこには『人間としての新たな価値観』に思いを巡らせる場所となっています。そしてここは特別なところではなく、ごく身近なところにもあることに気づかせてくれます。きっと皆さんのところにも有るはずです。

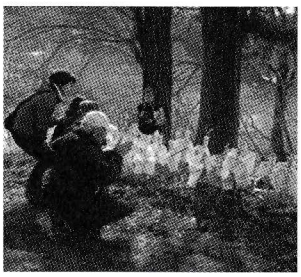

①廃線敷きコース


健康ｳｫｰｷﾝｸﾞ　漆久保ﾄﾝﾈﾙ

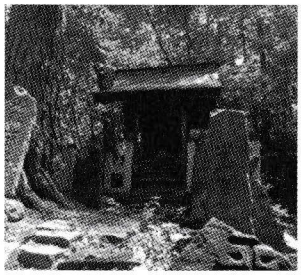
けやきの森自然園観察会

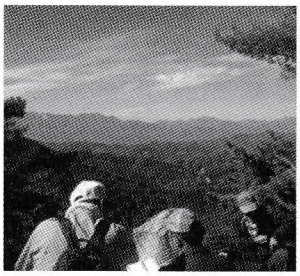
潮沢川自然観察会

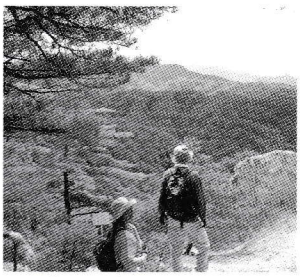

②柏尾・名九鬼集落コース


300年以上続く「風神祭り」

パリまで行った接吻道祖神


木曽の方向を望む御嶽神社

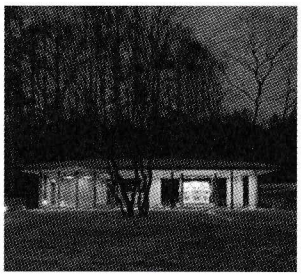

③岩洲公園コース


西の北アルプスと東の筑北の山々

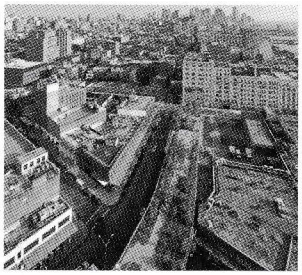
八面大王足湯　→

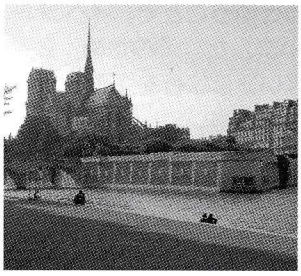
東山山麓の潮沢の対岸、西山山麓にも伝わる八面大王伝説をモチーフにした足湯です。両里山に伝わる伝説が、地域のロマンを生みます。

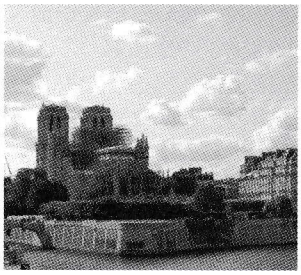
第14回　長野県建築文化賞
一般部門　奨励賞受賞


八面大王足湯

ニューヨークのハイライン公園（地元の人たちの『思い』から始まった廃線を活用した都市公園開発）とはいきませんが、残したいという『思い』は、一緒です。1999年と2019年のノートルダム大聖堂、残したいという『思い』は、やはり一緒です。三つのウォーキングコースを通して学んだことは、「文化性」と「社会性」は濃密な関係で内包された一つのレトリック、それは伝承するための言葉と五感に基づく記憶なのかもしれないということです。この「さんぽ」は、ちょっと哲学的な「心のさんぽ」です。


NY　ハイライン公園（公式HPより）　←廃線・再開発→




ノートルダム大聖堂　←1999年・2019年→

最後に、潮沢ロマンの会の皆さん、安曇野市環境課の皆さん、KRCの藤村さんそのほかこのプロジェクトに関わった多くの皆さんに感謝いたします。　岡江

※詳しいウォーキングコースの問い合わせ等は、下記 潮沢ロマンの会へ
事務局：横田さん　bxc02655@nifty.com　　ホームページ：https:www.usiozawa.com/